

第1回佐賀県総合運動場等整備基本計画検討委員会議事要旨

□開催日時：平成28年5月30日（月）

□出席委員：石橋委員、岸川委員、小早川委員、今委員、坂元委員、竹原委員、田部委員、原田委員、東島委員、藤井委員

テーマ	主な意見
県有スポーツ施設のあり方	<p>■ <u>国体後のことを見据えた整備を</u></p> <p>佐賀県の場合は国体を控えており、施設を考える大きなチャンスである。ただし、今回の整備は国体のためではなく、国体後のことをしっかりと考えておかなければならない。</p>
	<p>■ <u>県の施設でしかできない整備を</u></p> <p>市町の施設より大きいだけが県の施設ではないはずである。</p> <p>JリーグやVリーグなどのプロの試合や国内トップレベルの試合を快適な環境で観戦でき（『観る』スポーツに対応した）、また、みんながあそこで試合をやりたいと思うような県の施設でしかできないことをやるべきである。</p>
	<p>■ <u>工夫しだいで利益を生み出すことも可能</u></p> <p>今回の整備を考える際のキーワードになるのは、『スケールメリット（規模を大きくすることにより得られる効果や利益）』と『プロフィットセンター（利益を生み出す部門）』と考えている。佐賀県には久光のバレーボール、サガン鳥栖のサッカー、将来的にはバスケットボールチームなどが考えられる。うまくやれば、プロフィットセンターができるようになる。</p>
	<p>■ <u>スポーツを通じた街の活性化を</u></p> <p>スポーツだけで考えるのではなく、スポーツを活かしてどう街を活性化していくのか考える必要がある。</p>
	<p>■ <u>スポーツをやらない子どもたちもわくわくするような施設に</u></p> <p>『観る』スポーツに加え、子どもたちがわくわくするような、スポーツをやらない子どもでも日常的に楽しめるような遊びの場がある施設を作って欲しい。</p>

テーマ	主な意見
県有スポーツ施設のあり方	<p>■ 防災拠点となるような施設整備を 大規模な災害が起こった時の防災拠点となるような施設を考えてもらえると安心できる。</p>
ターゲット	<p>■ ターゲットを明確にした施設を整備 誰をターゲットにした施設を作るのかを明確に決めておかなければ、使いやすい施設ができない。 県民の人が楽しみながらスポーツを行うような『する』スポーツを考えるのか、プロの試合やトップアスリートの競技などを観戦するような『観る』スポーツを考えるのかを施設ごとにきちんと決めておく必要がある。 県民の健康増進のための施設なのか、人を集めてお金を落としてもらうための施設なのかで整備する施設が違ってくる。</p>
整備エリア	<p>■ 誰にとって使いやすい施設かを考えるべき 国内のトッププレイヤーにとって使いやすい場所なのか、県内の利用者にとって使いやすい場所なのかをしっかりと考える必要がある。</p> <p>■ 具体的に何を目的とするかによって、交通アクセス、商業圏などをしっかり検討すべき ナショナルトレセンのような育成の場であればどこに作ってもよいが、『観る』スポーツや県民が利用する『する』スポーツを考えるのであれば、交通アクセス、商業圏などをしっかりと考える必要がある。</p> <p>■ 県内のどこにあれば集まりやすいのかを考えるべき 佐賀県の中でどこに施設があれば一番県民が集まりやすいのかを考えれば、場所は自ずと決まってくる。</p> <p>■ 総合運動場は佐賀県の選手にとって一番の施設 色々な運動施設が集まったエリアは佐賀県内には他にない。佐賀県の選手にとっては一番の施設であり、場所であると思っている。</p> <p>■ 現在の総合運動場エリアはアクセスもよく最適 現在の総合運動場・総合体育館のエリアはアクセスも良く、このままの場所がいいと思う。</p>

テーマ	主な意見
整備内容	<p>■ <u>現在の総合体育館では「観る」スポーツへの対応は難しい</u></p> <p>体育館を使用する競技団体からは、ぜひ全国規模の大会などが行えるような新しいアリーナを建設してもらいたいという要望が出ている。</p> <p>総合体育館は2,000席程度の観客席しかないが、久光さんがバレーの試合をする場合、観客席数の問題や、選手の動線の問題、諸室の問題、収納の問題がある。</p> <p>『観る』スポーツに対応した施設を考えると、総合体育館では難しいので、新設アリーナの検討が必要と考える。</p>
	<p>■ <u>総合体育館は育成の場としては素晴らしいが、「観る」施設としては十分ではない</u></p> <p>総合体育館は育成の場としては素晴らしい施設であるが、『観る』施設としては十分ではない。</p>
	<p>■ <u>現在の陸上競技場も諸室が不足している</u></p> <p>陸上競技場も体育館同様にほとんど諸室などが無いなどの問題がある。この機会に改修をしてもらいたいという要望が出ている。</p>
	<p>■ <u>10月に開催される全障スポの対応には屋内プールが必要</u></p> <p>全国障害者スポーツ大会は10月に開催されるので、50mプールは屋内にすることが必要になる。また、屋内にすることで年中練習が出来て、競技力の向上が図れる。</p>
	<p>■ <u>ボクシング場等の未普及競技のトレーニング場所の充実を</u></p> <p>ボクシング場・フェンシング場、エアライフル射撃場はどこに施設があるのかわからないといった声を聞く。どこで競技がやられているのかわかるような場所に作って欲しい。</p> <p>未普及競技のトレーニングができる施設も考えて欲しい。</p>
	<p>■ <u>十分な数の駐車スペースの確保を</u></p> <p>駐車場は、『する』人だけを想定した数で設計されていて、『観る』人のことまで考えた数になっていない。</p>
	<p>■ <u>高速道路を利用して北から来られる車の動線も工夫すべき</u></p> <p>高速道路を利用して北から総合運動場に行く場合に右折ができない。</p>

テーマ	主な意見
整備内容	<p>■ 防災拠点として考えるのであれば、冠水対策が必要</p> <p>総合運動場は大雨が降った時に冠水している。防災の拠点として考えるのであれば、その対策が必要になる。</p>
	<p>■ 施設で収益を上げ、その収益を還元していく仕組みを検討すべき</p> <p>収益のことを考えると、施設の中にカフェやレストランを作ったり、駐車場を有料化するなどの方法がある。その収益を利用者に別の形で還元する仕組みも考えることができる。</p>
	<p>■ スポーツファンではない方々も施設に呼び込む工夫が必要</p> <p>アリーナでもスタジアムでも、バスケットやサッカーを好きな人ばかりだけで埋めるのは難しい。好きでない人をどう呼び込むかの仕掛けが、儲かる施設かどうかになってくる。そのためには人を引き付けるものが必要になる。</p>
	<p>■ 国体の開会式だけを考えればバックスタンドは仮設で</p> <p>シドニーやロンドンのオリンピック会場は大会終了後に観客席を撤去している。国体のためだけに施設を整備するのではなく、国体終了後は陸上競技場がサッカー専用スタジアムになるように考えてもいいのではないか。</p>
	<p>■ バックスタンドではなくメインスタンドの改修が望ましいのでは</p> <p>陸上競技場バックスタンドの改修する計画も考えられるが、サブトラックとの距離やVIPのセキュリティー、選手と観客の動線などを考えると今のメインスタンドを活用する方がいいのではないか。</p>